ハンディ超え心ひとつに

あす市民会館で手作りコンサート

市立川口高吹奏楽部OB アマチュアのフルバンド

市立川口高等学校吹奏楽部のOBで結成された県内でもめずらしいアマチュアのフルバンド「ニュー・ノーツ・オーケストラ」が、結成以来三十年間、特別養護老人ホームや身障者施設の慰問演奏を続けている。十五日には同バンドの呼びかけで市内のアマチュアバンドなど四グループも参加し、川口市民会館で、若者から障害者や高齢者まで一緒に楽しめる手作りの音楽会「ハートフル・コンサート」を開催。「みんなこころひとつになって、楽しい時間を過ごしたい」と同バンドでは期待している。

「ニュー・ノーツ・オーケストラ」は、昭和四十四年に結成。バンドの名前は「新しい音」という意味からとった。サックス五人、トランペット四人、トロンボーン四人と各パートがすべてそろった県内でもめずらしいフルバンドで、現在のメンバーは二十人。グレン・ミラー・オーケストラに魅せられ、スタンダードジャズを専門としている。

「学校に吹奏楽部ができたのは私が高校二年生のとき。卒業後、有志三人が集まって『楽器を使って何かやりたい』と言ったのが始まり」と、メンバーの尾熊栄一さん(四九)。

「練習の成果を発表したいから、声がかかればどこへでも足を運んだ。それがいつの間にか老人ホームや身障者の施設などの慰問が増えていった。やっぱり喜んでくれるのが何よりうれしい。『ボランティアをやっている』という意識はないんですが」と、尾熊さんは照れくさそうに言う。

今回の手作りコンサートは昨年十月、川口市民会館の海老原館長からバンドマスターの東海林明さん(四六)に「会館を使って何かやらないか」と話があったのがきっかけ。東海林さんは今までの数多くの施設慰問の経験などを生かし、コンサートのプログラムや照明、台本など、細部に渡って企画を練った。

とくに今回のプログラムで工夫を凝らしたのは、東海林さんがアレンジした「四季の歌」。「手話を交じえながらみんなで楽しく歌が歌えるようになっています。『父』『母』など覚えやすい単語ばかりですから、ぜひ覚えて帰ってほしい」と東海林さん。

東海林さんも実は小児まひの後遺症をもつ身障者の一人。「このコンサートは私の夢。障害者や高齢者、若者など、みんなが楽しめる世の中になることを望んでいるんです。障害者でもこれだけできるんだということを見てもらい、同じ立場の人を力づけたい」と話している。

コンサートは入場無料。問い合わせは川口市民会館☎048・251・9543。

コンサートに向けて最後の練習をする「ニュー・ノーツ・オーケストラ」のメンバー

埼玉

浦和総局
浦和市高砂2-2-17
〒336
☎048(829)2311(代)
FAX048(830)1091

通信部
大宮 048(648)9732
熊谷・本庄 0485(22)1995
所沢 0429(96)2391
秩父 0494(24)8863
川越 0492(22)1084
草加・春日部 0489(64)3953
加須 0480(62)2452

販売 048(822)1956
広告 048(822)4566

ご購読の申し込みは
☎フリーダイヤル
0120 (34) 4646へ。